



2019 年度近畿修猷会総会 議事録

- I. 会議名 : 2019 年度近畿修猷会総会
- II. 開催日時 : 2019 年 11 月 2 日 (土) 15:00～
- III. 開催場所 : ヴィアーレ大阪
- IV. 議案

報告事項 事業報告

- 第 1 号議案 決算書類承認の件/監査報告
- 第 2 号議案 組織変更 (案) について
- 第 3 号議案 会則変更 (案) について
- 第 4 号議案 役員改選 (案) について
- 第 5 号議案 相談役の委嘱 (案) について
- 第 6 号議案 次年度事業運営方針及び収支予算 (案) について

議長となる会長欠席のため田中丸副会長が会則第 6 条の 2 項により議長となり議事を運営しました。第 1 号～6 号議案 (次ページ以降の議案書参照) につ

いて幹事長並びに議長から提案があり、全てについて満場一致で承認されました。

2019 年度近畿修猷会総会議案書

事業報告

本年度は昨年度実施した寄付金制度等の導入及び年会費納入率の向上による収支改善で得た資金をイベント助成金（春・秋各10万円）、クラブ活動助成金（各クラブ1万円）として合計29万円を会員に還元し、本会の活動の活性化をはかりました。イベント参加者の負担が軽減され、参加者の増加・クラブ活動の活性化の促進に貢献できたと考えます。

また、昨年の総会で承認を得て導入したシクミネットによる会員管理システムにより、情報管理体制が構築できました。システムを使ったメールマガジンを発行し、イベントの迅速な情報によりキャンセルによる追加募集などに対応することもできました。更には、本年度から総会・幹事会議事録をHPにアップし、運営状況を迅速に会員と共有し運営の透明化をはかりました。

収支面は昨年度大幅に増加した会費納入率と寄付金とほぼ同額の収入を確保し、経費削減により得た資金を助成金として拠出しましたが、それでも今年度は20万円の余剰金が出る見通しです。

事業等の実施結果概要は以下のとおりです。

- ・イベント等：平成30年度実施した事業は以下のとおりです。

実施日	イベント	内 容	場 所	参加者数
5/11(土)	春イベント	万博太陽の塔内部見学&日本一の大観覧車搭乗ツアー	万博公園	66名
9/21(土)	秋イベント	館友 高山良彦住職と巡る日本仏教の母山 延暦寺	延暦寺	82名
10/5(土)		第21回近畿修猷会ゴルフコンペ	よみうりウエスト	23名
11/2(土)	総会	第43回近畿修猷会総会	ヴィアール大阪	

- ・会議等：事業及び組織改革等推進のために以下の会議を開催しました。

会議体	開 催 日
幹事会	第1回 1/19(土)、第2回 4/26(金)、第3回 9/9(月)、第4回 10/25(金)
常任幹事会	第1回 3/23(土)

第1号議案 決算書類承認の件/監査報告

1. 2018 年度収支決算報告

昨年の総会でご承認頂いた10月15日までの決算にそれ以降12月末日までの数値を合算した決算内容をご報告致します。

2018 年度は年会費納入率の向上策、寄付金の募集、経費削減により 42 万円余の大幅な余剰金を計上することができました。

収入は施策として寄付金の募集を行ったことにより、寄付金収入 410 千円が収入に大きく貢献しました。それに伴って会費納入率も会費納入者が 326 名（昨年 310 名）に増加しました。その結果、収入トータルは前年の 2,497 千円から 2,689 千円と 232 千円増と大幅に増加し、予算対比も約 60 千円上回りました。

支出は封筒の在庫切れ等により新聞印刷費用が約 40 千円増加、2 年に一度の HP 管理料支払（昨年なし）による約 62 千円の増加、シクミネットの契約金・利用料等が増加しましたが、他総会出席費用等の経費削減策によりカバーしました。

その結果、支出合計は 2,269 千円と前年の 2,254 千円とほぼ同額に抑えることができました。予算はシステム開発費用を 500 円計上していましたが、シクミネットシステムの導入により大幅にコストを削減することができました。

その結果、今年度への繰越金は約 4,985 千円となり、前年から約 420 千円の大幅増加となりました。

2018 年度収支決算書

2018年度近畿修会収支決算書(通期)										
項目	前年度実績		予算		2018年度実績		前年対比		予算対比	
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額	前年差	前年比	予算差	予算比
繰越金	4,321,910	-	4,564,782	-	4,564,782	-	242,872	105.6%	-	-
年会費	1,029,000	-	1,030,000	-	986,000	-	-43,000	95.8%	-44,000	95.7%
寄付金	30,000	-	130,000	-	410,000	-	380,000	336.7%	280,000	315.4%
寄附金(本部総会出席費)	40,200	-	40,000	-	40,200	-	0	100.0%	200	100.5%
寄附金(総会寄附金)	130,000	-	130,000	-	125,000	-	-5,000	96.2%	-5,000	96.2%
総会費	1,236,000	-	1,300,000	-	1,122,000	-	-114,000	90.8%	-178,000	86.3%
雑収入(含利息)	37	-	40	-	26	-	-11	70.3%	-14	65.0%
総会費用	-	1,259,514	-	1,300,000	-	1,224,945	-34,569	97.3%	-75,055	94.2%
広告掲載料	-	10,000	-	10,000	-	10,000	0	100.0%	-	100.0%
印刷代	-	487,620	-	475,000	-	527,904	40,284	108.2%	127,304	117.3%
運賃郵便料	-	477,120	-	477,000	-	168,408	8,712	95.1%	-8,592	95.1%
システム費用	-	-	-	300,000	-	59,400	59,400	19.8%	440,600	11.9%
通信費	-	13,638	-	14,000	-	75,323	61,685	552.3%	61,323	538.0%
送金料	-	1,620	-	6,000	-	4,050	-2,430	250.0%	-1,950	67.5%
運送料	-	6,159	-	1,600	-	6,159	0.0%	0.0%	4,600	0.0%
他総会出席費	-	150,200	-	130,000	-	77,240	72,960	91.4%	-52,760	39.4%
関係ジャパン	-	3,904	-	4,000	-	3,904	0.0%	0.0%	-4,000	0.0%
当審幹事会議費	-	100,000	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	-	100.0%
事業費収支差額	-	3,264	-	-	-	2,400	864	-	-	-
事業費収支差額	-	32,150	-	-	-	14,680	-46,830	-	-	-
事業費収支差額	-	33,208	-	-	-	6,426	-39,634	-	-	-
雑費	-	8,268	-	8,000	-	4,902	3,366	59.3%	-3,098	61.3%
小計	2,497,387	2,254,515	2,630,040	2,700,600	2,689,652	2,269,252	192,265	104.7%	50,612	101.9%
年度収支差額	-	242,872	-	70,560	-	420,400	177,528	173.1%	490,960	110.9%
繰越金	-	4,564,782	-	4,494,222	-	4,985,182	420,400	109.2%	490,960	110.9%
合計	6,819,297	6,819,297	7,194,822	7,194,822	7,254,434	7,254,434	435,137	106.4%	59,612	100.8%

2. 2019 年度収支決算報告（10 月 15 日現在）

本年度の 10 月 15 日までの収支決算は大幅上昇した昨年を更に上回る収入を確保し、今年度の施策であるイベント助成金、クラブ活動助成金合計 290 千円を支出してもなお、この時点で既に収支バランスが取れており、年内の会費納入により 300 千円程度の剰余金を計上できる見通しです。

収入では年会費納入者が昨年の 259 名から 270 名と 12 名（4.8%増）増加しました。寄付金につきましても昨年 82 名に対し今年は 100 名の会員が寄付をして頂きました。金額的には昨年対比で 3.2%増ですが、会費納入者の実に 37%の方が寄付をされたことは大変有り難く感謝申し上げます。

支出は新聞発送をヤマト運輸からタッピーメール便に変更したことにより約13千円の経費削減を行い、他支部同窓会出席への交通費を役員の自己負担としたことから経費を約43千円削減することができました。一方、シクミネットの導入により運営コストとして通信費が昨年度比でオーバーとなりましたが、他総会出席交通費を役員のボランティア活動として支出しなかったことによりカバーすることができました。

本年度の施策として春・秋イベントに各10万円、クラブ活動に9万円合計29万円の助成金を拠出しました。これによりイベント参加費を一人当たり約1,200円～1,500円安く設定することができ、イベントの活性化に繋がったと考えます。

これらの助成金を拠出してはなお、収入増と経費削減により収支差額は71千円のプラスとなりました。

2019年度10月15日現在の収支決算書

2019年度実績(10/15迄)							平成30年1月1日～平成30年10月15日迄
項目	2018年度		2019年度		前年差	前年比	摘 要
	収入	支出	収入金額	支出金額			
繰越金	4,564,782		4,985,182		420,400	109.2%	
年会費	776,000		813,000		37,000	104.8%	271人(前年259名) (内:ゆうちょ162人、しくみねっと31人、新年会・イベント時67人)
寄付金	325,000		335,500		10,500	103.2%	100名(前年は82名)
本部総会出席費	40,200		40,200		0	100.0%	本部より総会1名出席のための交通費支給
雑収入(含利息)	26		21		-5	80.8%	利息
広告掲載料	-	10,000	-	10,000	0	100.0%	本部同窓会企画協賛広告
印刷代	-	527,904	-	523,864	4,040	99.2%	春秋新聞、同封物、封筒、振込用紙印刷
運賃郵便料	-	84,573	-	71,001	13,572	84.0%	ヤマトDM便代(本年度は秋新聞は未払い)
通信費	-	73,051	-	97,945	-24,894	134.1%	シクミネット使用料、FAX利用料等
送金料	-	2,862	-	6,866	-4,004	239.9%	振込手数料
他総会出席費	-	77,240	-	50,000	27,240	64.7%	本部・東京・中京・中四国総会、福中・福高総会等の総会出席:祝儀
当番幹事会議費	-	100,000	-	100,000	0	100.0%	例年と同額
春イベント助成金	-	-	-	100,000			本年度からの施策
秋イベント助成金	-	-	-	100,000			本年度からの施策
クラブ活動助成金	-	-	-	90,000			本年度からの施策
事業費収支差額	-	2,400	3,500	-	5,900	0.0%	新年会不足金
事業費収支差額	-	14,680		6,527	8,153	#DIV/0!	春イベント不足金
事業費収支差額	6,426	-	35,056	-	28,630	#DIV/0!	秋イベント過剰金
雑費	-	4,902	-	-	4,902	0.0%	払込票印字代等
小計	1,147,652	897,612	1,227,277	1,156,203	収支差額=	71,074	
繰越金		4,814,822		5,056,256	241,434	105.0%	
合 計	5,712,434	5,712,434	6,212,459	6,212,459	500,025		
私たち会計監事は、2018年10月16日から2018年12月31日迄および2019年1月1日より2019年10月15日迄の会計処理について監査した結果、 適正かつ妥当であることを認めます。 2019年10月30日 会計監事 花崎 温子 (昭和55年卒) 会計監事 石田 岳彦 (平成3年卒)							

私たち会計監事は、2018年10月16日から2018年12月31日迄および2019年1月1日より2019年10月15日迄の会計処理について監査した結果、適正かつ妥当であることを認めます。

2019年10月30日 会計監事 花嶋 温子 (昭和55年卒)
会計監事 石田 岳彦 (平成3年卒)

第2号議案 組織変更(案)について

次年度の組織体制につき、以下の通り提案します。

1. 提案目的

幹事長と事務局長の二頭体制を幹事長に一元化することにより迅速な運営を行う。

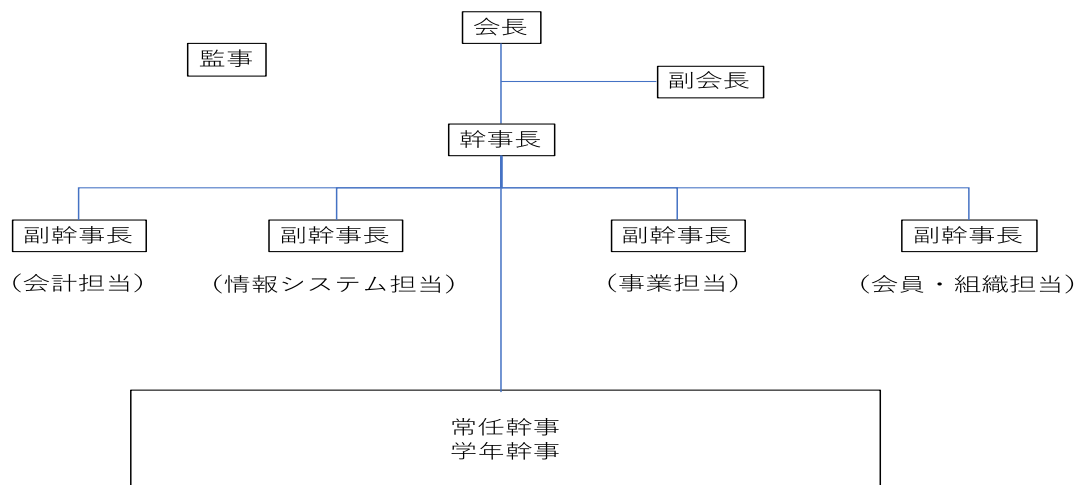
2. 組織変更理由

事務局長の業務は会計、システム、会員管理と幅広くあり、それら全てに精通して労力・時間等対応できる人材は希少である。それぞれの業務に精通した副幹事長が幹事長の元で業務を行うことにより、より高度で個人の負担が少ない体制が構築できる。

3. 組織変更内容

以下の通り

- 1) 事務業務も含めて幹事長が会務全般を管掌する。
- 2) 事務局長を廃止する。
- 3) 事務局長が担当していた会員管理、会計、情報システムについては副幹事長が分担して担当する。
- 4) 組織図：下図を参照



第3号議案 会則改定（案）について

組織変更に伴い、会則の変更をご提案します。

1. 会則変更の目的

以下の通り

- 1) 組織変更に伴い会則を変更する必要がある。
- 2) 常任幹事会を公式会議体として位置付ける。

2. 会則変更の骨子

以下の通り

- 1) 幹事長を会務全般の管掌とする。(第6条)
- 2) 事務局長、副事務局長組織を削除する。(第4、5、6条)
- 3) 常任幹事会の条項を設ける。(第12条)

3. 会則変更対比表

下表の通り

第4条 役員 本会に以下の役員を置く。	第4条 役員 本会に以下の役員を置く。
1) 会長 1名	1) 会長 1名
2) 副会長 若干名	2) 副会長 若干名
3) 幹事長 1名	3) 幹事長 1名

4) 副幹事長 若干名 5) 事務局長 1名 6) 副事務局長 1名 7) 常任幹事 若干名 8) 学年幹事 各年次1名 9) 監事 2名	4) 副幹事長 若干名 5) 常任幹事 若干名 6) 学年幹事 各年次1名 7) 監事 2名
第5条 役員の選任 1. 会長、副会長、幹事長、事務局長、副幹事長、副事務局長、常任幹事及び監事は総会において選出する。 2. 学年幹事は各年度の会員が選出した会員を会長が委嘱する。	第5条 役員の選任 1. 会長、副会長、幹事長、副幹事長、常任幹事及び監事は総会において選出する。 2. 学年幹事は各年度の会員が選出した会員を会長が委嘱する。
第6条 役員の任務 役員は次の各号に定める任務を遂行する。 1) 会長は本会を代表し会務全般を掌る。 2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその代理を行う。 3) 幹事長は会長の意を受け、円滑な会務の運営を掌る。 4) 事務局長は金銭の収支、会費の徴収、Webサイトの管理運営、その他本会事務全般を掌る。 5) 副幹事長は幹事長を補佐する。 6) 副事務局長は事務局長を補佐する。 7) 常任幹事は本会の会務を執行する。 8) 学年幹事は学年を代表し、学年会員をまとめて会務を執行する。 9) 監事は本会の会計及び事務執行業務を監査する。	第6条 役員の任務 役員は次の各号に定める任務を遂行する。 1) 会長は本会を代表し会務全般を掌る。 2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその代理を行う。 3) 幹事長は会長の意を受け、会務全般につき円滑な運営を掌る。 5) 副幹事長は幹事長を補佐する。 7) 常任幹事は本会の会務を執行する。 8) 学年幹事は学年を代表し、学年会員をまとめて会務を執行する。 9) 監事は本会の会計及び事務執行業務を監査する。
新設条項→	第12条 常任幹事会 1. 会長は総会及び幹事会における決定事項についてその具体的実施内容を審議するため、必要に応じて常任幹事会を招集し開催する。 2. 常任幹事会は会長、副会長、幹事長、副幹事長、常任幹事をもって構成する。 3. 常任幹事会は会長が必要に応じてこれを招集し議

	長となる。
--	-------

第4号議案 役員改選（案）について

会則第5条1項に基づき、次期役員（案）として次の通りご提案致します。

会長	芦原 直哉	(S45 年)	新任	
副会長	遠座 俊明	(S52 年)	新任	組織管掌
幹事長	大竹 恵	(S51 年)	新任	
副幹事長	草野 浩一	(S51 年)	新任	会計担当
	赤川 直	(S52 年)	新任	組織担当
	田口 彰	(S54 年)	新任	事業担当
	久野 啓祐	(S59 年)	新任	システム担当
常任幹事	林 容	(S58 年)	再任	事業
	濱崎愛子	(S58 年)	新任	事業・組織（名簿）
	遠山 雅夫	(S60 年)	再任	組織（名簿）
	道浦 嘉奈子	(S61 年)	新任	事業・組織
	田辺 晃子	(S62 年)	新任	企画・会計
	森 敏浩	(S63 年)	新任	年度幹事フォロー（事業・システム）
	廣津 聖子	(S63 年)	新任	年度幹事フォロー（新聞名簿）
監事	花嶋 温子	(S55 年)	再任	
	石田 岳彦	(H3 年)	再任	

第5号議案 相談役の委嘱（案）について

会則第8条2項に基づき、下記の4名を相談役に委嘱することをご提案致します。

松村 泰夫	(S32 年)
石丸 鐵太郎	(S37 年)
渡辺 克信	(S37 年)
松川 雅典	(S40 年)

第6号議案 次年度事業運営方針及び収支予算（案）について

会費納入率の向上と寄付金制度による収入の大幅増を会員に大きく還元する諸施策を実施して本会の参加率向上、クラブ活動の充実を図りより一層の本会の活性化を目指します。

1. 事業運営方針と施策

- 方針１：収支改善を今後も継続するとともに、収益改善で得た剰余金を会員に還元し、本会の更なる活性化を促進します。

具体的施策：

総会への助成、イベントクラブ活動に対する助成金の割増により、参加費の低額化、内容の充実により本会の活動を活性化する。

- ① 総会費用に対して２５万円を助成する。（参加者一人当たり約２千円）
- ② 春イベント及び秋イベントに対する助成金を１０万円から１５万円に変更する。（参加者一人当たり約２千円）
- ③ クラブ活動に対する助成金を各クラブ１万円から１万５千円に変更する。
（但し、年間延べ２０人以上が活動に参加し活動報告書を提出することを要件とする。）
- ④ シクミネットでの振込手数料を無料とする。

- 方針２：会員・役員間のコミュニケーションをより活発化します。

具体的施策：

シクミネットを活用して幹事長及び副幹事長が情報を共有しながら会務を遂行し、迅速な情報発信するとともに会員からの意見や提案を受ける態勢を整える。

- ・ 会務を幹事長・副幹事長が担当別に管理運営する。
- ・ イベント情報などの迅速な情報提供
- ・ 新聞のデータでの送付
- ・ イベント登録システムの活用
- ・ シクミネットでの会費納入システムの利用促進

- 方針３：役員組織の基本的な考え方を変更し、必要に応じて内規を設ける。

具体的施策：

本会を今後長く活性化し続ける組織とするために以下の内規を設ける。

- ① 役員のコンセプト：役員は会の運営のお世話をする「世話人」である。役員は常に会員を第一に考え会員に貢献するよう行動する。決して名誉や権威であってはならない。
- ② 輪番制：会長・副会長・幹事長の３役は輪番制として、原則として再任せずに後任に譲ることとする。役員は任期の２年間で本会にどれだけ貢献できるかを競うことで本会の活性化をはかる。これにより、より多くの会員が会の運営に携わり、活性化する。
- ③ キープヤング：原則として３役は７０歳未満、常任幹事は６０歳未満とする。
- ④ ボランティア：役員は全てボランティアによる活動とする。会の資金は会員の浄財であると心得、支出は全て会員のためのものとする。役員は旅費交通費を含め全て自己負担とする。

２．２０２０年度予算（案）

上記運営方針及び施策に実施を前提として、下記予算（案）をご提案します。

１．収入の部

年会費収入は370名が納入することを目標として、4.4%増とする。寄付金についても3.2%増とする。

2. 支出の部

イベント、総会、クラブ活動助成金、振込手数料等無料化等の施策に70万円余を拠出する。

3. 繰越剰余金

上記施策に助成金等で約70万円投資しても収支は均衡する計画となる。年度末の繰越金は5百万円を超え財政基盤は磐石である。

2019年度予算(案)									
項目	2018年度実績		2019年度推定		2020年度予算		前年差	前年比	摘要
	収入	支出	収入金額	支出金額	収入金額	支出金額			
繰越金	4,564,782		4,985,182		5,286,611		301,429	106.0%	
年会費	986,000	0	1,063,000		1,110,000		47,000	104.4%	会費納入者370名
寄付金	410,000	0	425,500		438,265		12,765	103.0%	寄付金納入額も約3%増
寄附金(本部総会出席費)	40,200	0	40,200		40,200		0	100.0%	福岡本部より
寄附金(総会祝儀)	125,000	0	125,000		125,000		0	100.0%	前年同額
総会費	1,122,000	0	1,122,000		1,200,000		78,000	107.0%	収入支出同額仮置き
雑収入(含利息)	26	0	21		21		0	100.0%	利息
総会費用	0	1,224,945	0	1,224,945		1,200,000	24,945	98.0%	収入支出同額仮置き
広告掲載料	0	10,000	0	10,000		10,000	0	100.0%	前年同額
印刷代	0	527,904	0	523,864		520,000	3,864	99.3%	前年同額程度
運賃郵便料	0	168,408	0	143,000		143,000	1	100.0%	前年同額
システム費用	0	59,400	0	50,000		130,000	-80,000	260.0%	シキネット管理費
通信費	0	75,323	0	102,945		40,000	62,945	38.0%	HP、FAX通信費等
送金料	0	4,050	0	8,066		30,000	-21,934	371.9%	送金手数料
他総会出席費	0	77,240	0	50,000		50,000	0	100.0%	前年同額
当番幹事会議費	0	100,000	0	100,000		100,000	0	100.0%	前年同額
春イベント助成金			0	100,000		150,000	-50,000	150.0%	前年実績+50千円
秋イベント助成金			0	100,000		150,000	-50,000	150.0%	前年実績+50千円
クラブ活動助成金			0	90,000		135,000	-45,000	150.0%	クラブ活動助成金(9クラブ×15千円)
総会助成金			0	0		250,000	-250,000	#DIV/0!	新施策
事業費収支差額1	0	2,400	0	0		0	0		新規:春イベント補助
事業費収支差額2	0	14,680	0	6,527		0	6,527		新規:秋イベント補助
事業費収支差額3	6,426	0	35,056	0		0	0		クラブ活動助成金(9クラブ×15千円)
雑費	0	4,902	0	0		0	0	#DIV/0!	15
年度収入・支出合計	2,689,652	2,269,252	2,810,777	2,509,348	2,913,486	2,908,000	収支差額=	5,486	
年度収支差額		420,400		301,429		5,486	-295,943	1.8%	
繰越金		4,985,182		5,286,611		5,292,097	5,486	100.1%	
合計	7,254,434	7,254,434	7,795,959	7,795,959	8,200,097	8,200,097	404,138	105.2%	

